

令和5年度 精神科訪問看護研修会～精神科訪問看護基本療養費算定要件となる研修会～

募集期間 第1回:3月 1日～4月15日 第2回:7月 3日～ 8月15日 第3回:10月 2日～11月15日
 配信期間 第1回:4月20日～7月31日 第2回:8月19日～11月30日 第3回:11月21日～令和6年2月29日
 対象 訪問看護ステーションの精神科訪問看護に従事する保健師・看護師・准看護師・作業療法士
 定員 第1回 400名 第2回 300名 第3回 300名
 受講料 会員 15,000円 非会員 25,000円
 後援 厚生労働省
 ライブ配信 第1回: 5月20日(土)、5月27日(土)、6月17日(土)、7月22日(土)
 第2回: 9月30日(土)、10月21日(土)、11月18日(土)、
 第3回:12月16日(土)、令和6年1月27日(土)、2月17日(土)

※ 修了証の発行にはライブ配信(グループワーク)の参加が必須です。研修会申込み時に参加日を選んでください。
 ※ 配信期間に関わらず、全ての講義(オンデマンド配信・ライブ配信)を受講した後に10日～14日程度で修了証が発行されます。

2023/6/27

一般目標(GIO) 精神疾患をもち地域で暮らす人を精神保健医療福祉チームで支援するために、必要な知識・技術・態度を習得する							
講義名	到達目標(SBO)	講義内容	講義時間	講師	配信方法	厚生労働省が示す研修項目(令2保医発0305第4)	
精神科訪問看護の実践① ・利用者との信頼関係構築 ・対人関係の援助	精神科訪問看護の現状と精神科訪問看護のサービス提供までの流れを説明することができる。精神科訪問看護における利用者との信頼関係構築・対人援助の方法を含む基礎的な留意点を述べるができる。	精神障がい者への対応における留意点/セルフケア能力を育む/利用者主体の原則/信頼関係構築のためのコミュニケーション	2時間25分	訪問看護ステーションのみ 統括管理責任者 進 あすか 氏	オンデマンド配信	(オ)利用者との信頼関係構築、対人関係の援助	
精神科訪問看護の実践② ・日常生活の援助 ・症状悪化の早期発見	精神科訪問看護における日常生活の援助のあり方について基礎的な留意点を述べるができる。精神科訪問看護における、症状悪化の早期発見の状況を説明することができる。	精神科訪問看護の基礎的な留意点/精神障がい者の疾患を有する者に関するアセスメント/利用者の生活史や入院歴、現在の病状や服薬の状況等について情報収集し、変化に対応する/再発を予防しQOLを高める支援を行う	4時間1分	訪問看護ステーションのみ 統括管理責任者 進 あすか 氏		(ア)精神疾患を有する者に関するアセスメント (イ)病状悪化の早期発見・危機介入 (カ)日常生活の援助	
精神科訪問看護の実践③ ・危機介入 ・医療継続の支援	精神科訪問看護における、症状悪化の危機介入の状況を説明することができる。医療継続への支援方法を具体的に述べるができる。	悪化の兆候をアセスメントし対処行動を共有する/早急に危機介入のタイミングを検討し、クライシスプランにつなげる/医療継続の動機づけや主治医との関係性を把握し、助言する/家族への支援		訪問看護ステーションのみ 統括管理責任者 進 あすか 氏		(イ)病状悪化の早期発見・危機介入 (工)医療継続の支援	
精神科リハビリテーションの概念と実際	精神科リハビリテーションの概念と実際を説明することができる。地域における多職種の活動を述べるができる。連携するための方法を具体的に述べることができる。	社会活動参加への支援/多職種の役割の理解と連携について/精神科リハビリテーションの概念と取り巻く状況	2時間19分	帝京平成大学健康医療スポーツ学部 作業療法学科講師 勝嶋 雅之 氏		(キ)多職種との連携	
精神障がい者の理解・精神科疾患における薬物療法	精神障がい者の疾患・精神症状および薬物療法・服薬管理・副作用の基本的知識を述べることができる。	精神疾患について/薬の作用・効果、副作用について/利用者に合わせた服用方法などへの支援(精神科薬物療法に関する援助)/多職種との連携について	2時間58分	国立国際医療研究センター国府台病院 精神科医 佐竹 直子 氏		(ウ)精神科薬物療法に関する援助 (キ)多職種との連携	
保健・医療サービス提供システム	精神保健医療体制を含む精神保健医療福祉制度の現状と動向を説明することができる。利用者・家族を地域で支えるための社会資源や利用可能な制度の活用方法を説明することができる。相談できるネットワークを構築するための方策を具体的に述べることができる。	精神保健医療体制について/精神保健医療福祉制度の現状と動向/地域の中での精神保健医療体制のあり方について/多職種との連携について	1時間54分	社会福祉法人ソラティオ 次長 小泉 宏和 氏		(キ)多職種との連携	
精神科訪問看護の理解とアセスメント	精神科訪問看護を取り巻く状況や歴史、背景、および精神科訪問看護の目的を説明することができる。	精神障がい者の現状/精神科訪問看護を取り巻く状況や関連する制度/精神科訪問看護の効果/多職種との連携について	3時間44分	国立看護大学校長 萱間 真美 氏		(キ)多職種との連携 (ク)GAF尺度による利用者の状態の評価方法	
看護職のGAF評価	GAF尺度によって利用者を評価できる。	GAF評価の仕組みとポイント/GAF尺度による利用者の状態評価	2時間1分	北村メンタルヘルス研究所 所長 北村 俊則 氏		(ク)GAF尺度による利用者の状態の評価方法	
GAF評価の実際～演習～	GAF尺度によって実際に評価を行うことができる。	事例からGAF評価の演習/事例のGAF評価の開設	1時間	駒沢女子大学看護学部看護学科 准教授 畠山 卓也 氏 井之頭病院 看護部長 渡辺 純一 氏		ライブ配信	(ク)GAF尺度による利用者の状態の評価方法
地域のチームで支えるための事例検討の進め方	理解を深め実践する力をつけるための事例検討を行う事ができる。	実践に役立つ効果的な事例検討の仕方/事例検討を進めるためのポイント	30分	国立看護大学校長 萱間 真美 氏			
事例検討～グループワークおよび全体発表～	グループワークで事例を検討することにより、理解を深め、実践する力を身につける。受講生同士が交流し、精神科訪問看護についてのそれぞれの問題意識を共有する。	グループワークによる事例検討/全体発表	2時間	聖路加国際大学精神看護学研究室教員 ほか			
			22時52分				

講義時間や講師など実施内容が変更となる場合があります。